

クラウドファンディングの魅力

スタートアップ製品を買う

kibidango (きびだんご)

<http://kibi-dango.jp/>



→活動を手厚くフォローし、成約率8割をほこる。ファンド終了後も、EC機能で販売可能。

最初に支援したのは『GoPano』だった
 クラウドファンディングにハマったきっかけは？
松崎 元々、ネットショッピング好きで、リアル店舗以上に楽し

支援プロジェクトは100以上 クラウドファンディングサイト『kibidango』 松崎 良太社長に訊く



初期の楽天に関わり、国内ECの創成期を体験。クラウドファンディング好きで、自らも2013年にkibidangoを設立。利用者目線のノウハウがサイト運営に生かされている。

天やアマゾンで安い物をしていただけですね。11年にネットメディアで『Kickstarter』(キックスターター)が紹介されていて、おもしろい仕組みだなと興味をもちました。最初に支援したのはiPhoneに装着すると360度動画が撮影可能になる『GoPano』という製品で、これがクラウドファンディングの原体験になっています。今まで95件は支援しています。

クラウドファンディングのおもしろさは何ですか？
松崎 ニッチなニーズを満たすユニークなプロジェクトが多く見つかることです。それと、これまで実現が難しかった企画が次々に登場していることです。たとえば、私も支援した『Ke

鍵盤に変身するiPadカバー



↑Miseluが開発した『C.24』。キックスターターで約13万6000ドルを集めた。

『Keep Me Posted』というプロジェクト。虫たちの文通をのぞき見しようという趣旨で、支援した人には指先ほどのサイズの手紙が6回にわたって届きます。手紙には肉眼では見えないくらい細かい文字が書かれていて、それを見るためのルーペも最初に届くのですが、これは書店など通常の販路では売りにくいアイデアあふれる製品です。よね。こういうモノがクラウドファンディングだと実現できてしまうのが非常にうれしいのです。

主従関係ではなく仲間になれるのが魅力
 クラウドファンディングをおもいっきり楽しむための心構えはありますか？
松崎 ただお金を出すというのではなく、支援することによってプロジェクトの道中を共にするという意識をもつことでしょうか。プロジェクトの支援者と提

虫どうしの文通をのぞき見



↑キックスターターで約2万3000ドルの資金を集めた『Keep Me Posted』。

案者は、発注者と受注者という主従関係ではなく、いっしょに製品を世に送り出す仲間の関係なんです。プロジェクトが期限内に成立するかどうかをハラハラしながら見守るゲーム性もありますし、製品とそれにまつわるストーリーを提案者として共有することもクラウドファンディングの魅力なんだと思います。

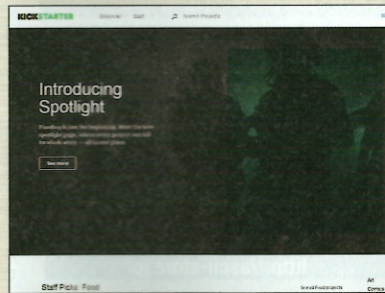
では、クラウドファンディングを利用する際の注意点は？
松崎 クラウドファンディングでは、プロジェクトの実現性そのものや製品の品質、納期に関して、何も保証されていないというところは知っておくべきです。支援するのには、提案者と直接やりとりしたりフェイスブックページをチェックするなど、自分で手間をかけて調べる必要があります。もう売っている製品にお金を出すショッピングサイトと違って、まだ世に出ていない製品にお金を出すわけで、リスクもある場だと認識していたほうがいいと思います。

多数のハードウェアスタートアップも利用する米国の定番サイト



サンフランシスコ発の老舗サービス
Indiegogo(インディーゴーゴー)
<https://www.indiegogo.com/>

'08年に設立。キックスターターよりも審査基準がゆるくユニークなプロジェクトがそろそろ。ゲームや映画の製作資金から個人的なお願いで多様。成約率などの数値は非公表。



クラウドファンディングの代名詞的存在
Kickstarter(キックスターター)
<https://www.kickstarter.com/>

'09年に設立され、クラウドファンディング躍進の立役者。これまでに約8万件のプロジェクトが成立し、約16億ドル(約1920億円)もの資金を集めている(4月1日現在)。